(二日夕刊)
# 磐城新聞
休刊 大祭 第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢
廣告料 雜報欄行五十錢(場所指定二十錢增)
發行兼編輯印刷人 逆沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

## 普通選擧(三)

千葉學人

(イ)天賦人權論。この說はかのフランス革命時代にルーソー等によつて唱導された自由民權論の別名であつて、この思想が當時における君主專制の弊害を打破して民主的思想を旺盛ならしめ、革命の導火線となつたことは何人と雖も知るところである。

曰く、人は各生れながらにして自由を有する。かゝる自由の狀態は人間性が專恣利己ならざる場合にたいてのみ平和幸福をもたらすべきである。奈何せん人性は利己的であつて、これをその儘に放任する時は社會はたちまちにして闘爭の巷と化し、人生の幸福は全然失はれてしまふのである。人類全体にして幸福を望まんか、須からく各人の專恣を抑制すべき制度がなければならぬ。國家はかゝる目的のために、人がその自由意思に從つて結んだ契約の成果であつて國家權力は畢竟各人自由意思の總和に外ならぬ。從つて各人は國家權力の發動に對し、當然參加する權利を有すと。

以上の論旨に對しても次の樣な批難を加へ得る。(一)人民に果して過去にたいて社會契約てふが如き關係を意識的に結びしことありや、たとひ之有とするも祖先の結びし契約につき永久にその子孫拘束を受る事は正義に合するや否や。余は何れの點に對しても否と答へざるを得ないのである。

(二)人は生れながらにして自由意思を有するや否や、本問題は現今哲學上意思自由論および非自由論として戰はされてゐる問題であるが、余は自由說に左袒せざるものである。蓋し吾人の意思が生理的要素自然的現象又は社會的環境等に依つて左右せらるゝ必至的のものにして決して自由でない事は各自が少し深く反省する時直に悟りうる事實だからである。(三)ことに人民主權論は我國の如き君主國の選擧權の根據を說明し能はざるにたいておやである。

(ロ)社會主義の選擧權論 自由民權論が當時の專政君主の暴政に反抗して人民は主權者也と唱へ、人民の權利を伸張すると共に成るべく國家及び君主の權力を狹き範圍に限らむとした學が著るしく一般民衆の政治的地位を高むるに至つたのは見のがすべからざる事實である。然しながらこれ等の政治運動の結果事實上新たに選擧權を得た者は歐洲諸國を通じて所謂中流階級以上の者に過ぎなかつた。從つて數的に國家の大部分を占むる勞働者及びこれに類似の無產階級者は何等の權利を得ることなく、徒らに騷いで他人の幸福を眺めたに過ぎない。自由民權論の起つた學、社會主義的選擧權論の勃興したことは自然の趨勢と云はねばならぬ。

國家は最大多數者の最大幸福を達成するために存するものであるとの思想は始めて英國學者によつて唱へらるゝに至つた。この議論に刺戟せられて起つた社會主義的選擧權論者は巧にこの論旨を利用して、國家は國民中最大多數を有する無產階級者の最大幸福を達成するために存在すべきであると唱へ、勞働問題が益社會的運動の色彩を帶ぶると共に、俄然絕大の勢力を振ふに至つた。カールマルクス、フエルジナンドラッサル等の所論は即ちこれである。

マルクスが、彼の有名な階級闘爭論を唱え、有產階級者と無產階級者とは生れながらの仇敵であつて、前者は常に後者を不當に壓迫してその利益を壟斷するのであるから無產者はこれが正當防衛として、有產者を屈服するの手段を採らねばならぬ。と力說し、引續いてこの派流の論者が「ブルジョアー文明に依つて建設せられた國家法律を破壞して、無產階級者の樂園たるべき新國家を樹立せなければならない」と論じたのは何人と雖も熟知の事實である。勿論ラッサールの說いた樣に、無產階級者の權利を伸張するがためには、何も現實の國家、法律等を破壞する必要はない。何といつても無產者は有產者よりは數にたいて多いのであるから、現代の國家法律の許す範圍內にたいて社會主義の運動を起し、徐々に選擧權その他の權利伸展の目的を達することは至難ではない、と說いた穩和派があつたけれ共、社會主義論の極端な結果は、遂にレーニントロッキーのロシア革命となつて實現したのである。

社會主義者の權利伸展論は二個の點に於て誤つてゐる。即ち(一)有產者と無產者とは生れながらの仇敵であると論じてゐるのは、現實を無視した社會實相の反面論である。成る程兩者間には利益の相反する場合が多いであらう、然し他面にたいて兩者は相互に協調する事に依つて一層相互の利益を伸張し得ることを忘れてはならぬ。畢竟闘爭說は人生の闘爭的方面のみに着眼して、協闘の他面を忘失した僻論に外ならない。從つてかゝる論を土臺として選擧權の基礎を說明したのは誤謬たる事明かである。(二)次にこの論による時は無產者のみの權利伸展を計る結果、再び階級的差別を生じ、以て國家の統一性を破壞するに至るからである。

## 選擧都々逸

小川鄉　吉岡獨步

選擧權を尊重しませう
戀ひに焦れた參政權よ。
うかと選擧をせぬがよい
互の体と其選擧權他人仕せにせぬがよい
選擧するのは國家の爲よ
尊重しませう選擧權
選擧運動の淨化を期しませう
選擧運動は堂々としませう小股すくひはやめにして
緣故運動や情實運動やめてやりたい言論戰
うかと乘るまいあの口車
清き一票が無駄になる
候補者を嚴選しませう
わたしの理想は人物本位
金や名譽に眼はくれぬ
主はちよいと見て調子に乘るがわたしやよく見て選擧する
慾を離れて國家の爲に働くた方を選擧する

※明日の吉凶※
新曆九月三日　舊曆八月八日

▲一白　何物も妨ぐること能はざる隆運日起業大吉▲二黑　心身共に落付かず旅行移轉企業何れも凶日▲三碧　手紙時付け等人の手に殘す物には注意の日▲四綠　苦は去りて追々と樂に向ひ來る日金談は凶▲五黃　油斷すれば逆行し易き日金談約束事何れも凶▲六白　內に英氣を養ふて輕擧妄動は深く戒むべし▲七赤　事成るに近づきて瞬間に破敗を生じ易き凶日▲八白　氣分軟弱に陷り易き日無理を爲れば損失す▲九紫　心の曇り取れて愉快に物事の運び行く吉日

講談

## 密議 (129)

高橋掬太郎創作　布施半八郎揮畫

吉村玄蕃は怪人が神部清左工門に似て居なかつたかと問はれたがそれを答へるけれど昌康にしろ重太夫にしろ怪人の正体が神部清左工門のやうな氣がしてならなかつた、どう考へても清左工門の他にそんなに腕が出來て成昌のために忠義をするやうなものが思ひ當らなかつた。

昌康は奉行川越軍治を呼び重太夫と三人で秘密の評議を開いた。

「どうぢや軍治その方は何んと考へる怪人は兄成昌に忠義立をする、そして我々に仇を爲さんとする者であるが何づれ當家中の者に相違があるまい然らば當家中で玄蕃に勝る腕前の者は誰れぢやと思ふ?」

昌康は軍治の意見を問ふやうに云つた

「はゝ誰でありませうか?」

軍治は首をひねつた

「重太夫も申すのぢやが若しやこの曲者は神部清左工門であるまいかと思ふのぢや」

「はゝ、成程」

「其方は左樣に思はぬか」

「いや拙者奴も若しや彼ではないかと思ひまする」

軍治も同じ意見を答へた

「うむ其方も左樣に思ふか

いよ\/\/清左工門が怪しいわいどうぢや直ちに召捕へて取調べて見ぬかどうせ我か爲めを致す奴ではない」

と昌康は兩人の意見を問ふた

「仰せの通り召捕へて取調べた方がよいかも知れませぬ」

と軍治は言下に同意した

「重太夫其の方は何んと思ふ」

昌康は更に重太夫に問ふた

「いやそれは輕卒に致すべきでないと存じまする」

重太夫は考慮するやうに云つた。

「何故ぢや寸前尺魔とやらどうせ我に不爲の心を抱く清左工門眞僞は兎に角此の際に處分してもよいではないか」

昌康は重太夫が同意せぬのを訝かるやうに云つた

「如何にも主君の仰せの通り我々の爲になるものではありませぬが國の政治の上には必要な人間でござりまする」

「左樣か」

「今日迄彼を無事でおいたのもその爲ではありませぬか」

「うむ」

「內部は我等が思ふが儘に致しても彼を表面の看板に致してたく時は國內が無事でござりまする」

「左樣か」

「彼に落度のある時は存分に責めるのも差支へはありませぬがしかし萬一下手をやつてはどんな騷動が起るかも計り知れませぬ。彼はなか\/\德のある男だ彼が我々と敵對する場合は彼のために味方の名乘を上げる者も少くないと存じまする」

「よし相判つたしかしこの詮議はなんといたす」

「さればその儀については神部清左工門の擧動に注意し動かぬ證據のある時はその時こそは遠慮なく處分をいたしても差使へないと存じまする罪ある者を罰することは正しき掟でありますれば……」

「左樣か然らば其方等二人に任せてたくだが十中八九まで清左工門らしいのう」

「左樣でござりまする清左工門は主君に危害を加へやうと致せし石田忠兵工の妻の兄成昌殿には無二の忠臣主君に復讐の心を抱いて居ることは明かでありまする、また腕前といひたしかに夫そらしく存せられます」

とこゝで三人が打合せをし神部清左工門の擧動を監視することになつた

廣告

ちのくすり
御需めの方は
平白銀町 吉田新聞店へ
電話四十八

平館隣り
御料理 鰻蒲燒 仕出し
魚榮
電話四二四番

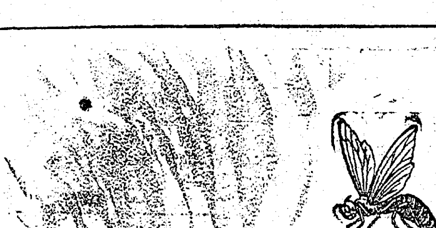
平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
入院隨時(自炊の便あり)
平町南町(電一七〇番)

平町紺屋町
吉田眼科醫院

金牌一等賞數回受領
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番
◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候

三百年の古い歷史と
他の模擬の出來ない
獨特の芳香と色澤を有つ
ヒゲタ醬油
釀造元 銚子醬油株式會社
平町田町
特約店 廣瀨支店
電話五四番


蜂ブドー酒
團欒への一杯!
賓客への一杯!
健康への一杯!
品質本位
美味=最も芳醇にして萬人の嗜好に適し
滋養=最も豐富にして氣力と体力を增す

近藤利兵衛商店

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、

居乍らに萬斛の凉味
扇風機會賦販賣
三月拂十二吋頸振 一回目十二圓 二回目十一圓 三回目十圓
事務所のテーブルの上に………
商家の店頭に………
可愛た子さん方の爲にも
各御家庭に一臺は是非お備へ下さい
モーター扇風機の修繕も致します。
電機機械 日東商會
平町白銀町九番地
電話平六五〇

片濱自動車運轉
平、高久、豊間、江名
停留所
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話…二二七番 …一四二番
御三人以上はお迎ひに參上致します
平町四丁目和泉屋旅館前
鈴木 片濱自動車商會

# 宿屋に泊つたときは 美人のお給仕罷りならぬ

## 新法の取締規則を目ざし 政民兩黨虎視耽々

石城郡に於ける縣會議員選擧は漸く眞摯味を見せ明三日の告示を待つて一切に火蓋を切る事となつたが、何しろ新法初回の選擧の事とて反則行爲の防止研究に再派とも力を入れあわよくば敵の違反行爲を指摘して漁夫の利を占めようなぞと虎視耽々たるものがある、處で新法中多くの質疑の中には何分日本最初の取締だけにとても奇抜な項目がある、その中の一つに

**選擧人が**旅館若しくは料亭において飲酒をなす際美貌の女性をしてこれが給仕にあたらしめ杯盤の間秋波を送りつゝその候補者への投票を申込ましめたる行爲は法第百十二條第一號の違反なりやといふのがある、即ち女子をして總選擧運動をなさしめたる點において第九十條違反の罪の共犯たるべく、又當選を得、又は得しむる目的をもつて美貌の女子をして給仕せしめたるにおいてはその行爲は第十二條第一號にいはゆる饗應接待たるべし（司法省）つまり酒の席ばかりではない飯の給仕の時でも

**秋波を送**つたり觸れなばはゝねまんコケテツシユな物腰をして候補者を賞揚したりすると二年以下禁錮に處せられる、女の坐的全命である愛嬌は封じこめられた譯である、ところが斯うなると美貌の標準であるが、美人とは十人十色の筆法で行けばこの美貌の解釋がすこぶる難しくなる譯まして肉体美謳歌の今日はといひたくなる、この質疑について平署當局の觀方如何を尋ねるとくすべつたいやうな答へをしてゐる更にもう一つ婚姻と媒介と利害關係の項で選擧人に對し血統正しき良家の女を嫁に世話すべきにつき自己に投票してくれたしと申し込みたる行爲は法第百十二條第二號に該當するや但選擧人に村內低級にして

**地方的信**用十分ならざるとざる者もしくは特殊部落民なる場合は申しこみの效力は著しきものとなる、即ち特殊の直接利害關係を利用し誘導をしたことゝ見なさるゝわけで選擧中はうつかり花嫁御の世話もできないことになるらしい

## 十月上旬迄に 新設電話 平局準備急ぐ

平郵便局の今年度特設電話抽籤の結果は既報の如くであるが架設工事は目下仙臺遞信局に於いて原料品の購求中で例年よりは幾分早やく今月上旬までには全部の架設工事を終了する見込で

## 參事會に內示して 正式調印の運び けふから審議會に廻る 淺野翁の百萬圓

小名濱商港計畫に對する淺野翁、百萬圓寄附問題に關しては過般伊東知事が上京して淺野翁と折衝して契約內容を決定した事は既報の如くであるその契約覺書に就てはその後淺野翁が磐炭會社幹部の諒解を得てすぐにも內務部長宛に寄こすことになつて居つたところ十日餘りを經過するも尚該書類を送附して來ないのは又ぞろぐらつき出したのでは無いかと傳へられたが事實は然らず磐炭會社の幹部に異動があり本問題に關し最初から折衝の役にあつた倉田磐炭專務が鑛業所長として現場に當ることゝなつたなどその間に多少の時日を要したが今回の伊東知事上京につてこれが問題を促進したものゝ如く一日淺野翁から正式に平井內務部長宛に該覺え書を送致して來たので本二日開く縣參事會にてもこれが內容を提示し得ることゝなつた今後は只縣會の承認を經て署名調印する許りとなり漸くにして一段落を告ぐるに至つた

## 勿來の火事 居宅二棟を燒く

石城郡勿來町醤油屋渡邊梅吉郎方から去月三十一日午後八時二十分頃發火し居宅二棟を燒いて同十時鎭火原因損害取調中

## 全然不可能事な 寺院庫裡の免稅 餘りに虫がよすぎるさ 當局側の觀側談

石城郡所任の各炭礦會社では坑夫長屋に課稅される家屋稅の撤廢に對し極力反對の意を表し仙臺鑛山局を通じ目下猛運動中であるが一報の如くであるが一方各寺院に於ても相當反對の氣勢を昂げてゐる然るに

**或る方面**の意見を聞くに寺院に對する免稅は全然無條件といふのではなくて其庭には重要な條件が附加されてゐる事を忘れてはならぬ、右に就き最近當局の談によれば寺院建築の免稅てふ事には正當なる目的の爲めに使用せられてゐる即ち寺院にしても又その附屬建築物たる庫裡にたいて之を目的外に使用してゐる場合換言すれば之を

**賃貸借を**附してゐるが如きに至りては假令それにより得べき利益を寺院の如何なる方面に使用するとしても許さるべきではない元來寺院といふものは教義の宣布儀式の執行をその本旨とするのであるから夫以外に使用することは正當でない譯である、かるが故に若しかくの如き場合にありては文部省としても之が免稅の保障をなす事は全然不可能であるとの事である

## 床屋に怪賊

平町ヶ橋通理髪器具商小堀初次郎方に去月三十一日午後二時ころ賊忍び入り貯留金在中の手提金庫を竊取逃走せんとしたのを店主が發見誰何したところ賊は狼狽して金庫を投げ出し着用した運動用帽子を置きみやげにして播槌小路方面に姿を晦ました

## 濱三郡の 木炭界業績 荷は減金は增

濱三郡木炭同業組合大正十五年昭和二年度歲入は豫算三百二千八百七十九圓四十錢に對し二萬四千八百七圓六十錢で八千七十一圓七十三錢の減少を見たが最も激減したのは檢査料豫算三萬四千圓であつたのが一萬六千三百七十五圓三十錢しか收入なかつた外荷票料その他すべてに於て減少した。これは生產額が不況のため減少したのによる歲出も同樣八千七十三圓餘の削減を餘儀なくされたので組合では昨年八月以降檢査員を十八名に減員し漸く事業を遂行した情態であつた

## 夏の休暇を利用して 兒童に夏蠶の飼育 山手三ケ校良績で 漸次郡下に勵行

本郡內平窪、田人、箕輪、錦の四小學校では予ねて夏季休暇を利用して小學兒童に夏蠶一蛾飼育を試みてゐたが成績頗る優秀で殊に女生徒の取扱つた繭の如きは一般に比し遜色ない程の出來榮であるが田人村小學校の如きは全校五、六年を甲として高等一、二年を乙として男女生全部に飼育せしめた結果最良一椎四百匁と質成績を示し收繭四十五貫以上に達し此れが賣上代金約二百餘圓で他の三校に比較し破格の良績を見せてゐる尙同校では此の賣上代金二百圓を修學旅行の基本金に貯立てる事となつたが同校の此の出來榮に鑑みた郡下各小學校では來年あたりから此れに倣つて飼育する計劃中である

## 鉾と砲（投書歡迎）

### 村の女學生

◇…養蠶に一生懸命夜もろくろく眠らずに腰の痛さも我慢に我慢して廿日た盆に繭を賣つた金の一部が小使の配當にならうと待つてても廿ア今年の繭の値段では肥料代差引けばゼロ、疲れ瘦せたのが儲け物でなんと綿の財布のかるいことよ。

◇…平の某女學校に通つてる妹は夏休みで朝は遲起き日中は縱橫知れない太い體で本讀みだ晩は二三人で小話、雜誌の口繪の批評だ、正雄の繪が好きだ、華宵の繪がよい虹兒の繪はあきたとかそろ／＼戀愛思慕とかの話。

◇…盆の料理に芋を煮てもつても中心がある夕顏位は煮るソウメンの煮方は心が白く殘つてゐる桑摘みさせれば大くどき蠶は嫌いとにげ廻る、割烹着つけて西洋料理はどんな物でもと鼻息强い今の女の學生ぶり。

◇…暑いの寒いのと云ふよりも働かねば喰へない世の中なのに、今の女の學生には休みに何處かへ旅行しなければ休みの氣分が少しもないと氣づい氣儘へ卒業すれば嫁に行く、そうなれば親の鳥りだ親の親の養蠶で腰の痛みも取れない內に、輕い綿の財布からしぼり取る勇ましさ。

◇…それがお流行りもの／＼電氣カバーだ、ハンカチだ、手提カバンだ紅封筒レターペーパー化粧品に變化する、クラス會費旅行費とか西洋料理の割烹費とか何から何迄輕い綿の財布をしぼり通し今の女の學生だ。

◇…普通着と通學着物を區別して、袴でさへも色があせたと毎年度に新調する、黑紋付の禮服を備へ、年々はやるパラソルまでを一々輕い綿の財布からしぼり取るその上に平の女の學校では洋裝姿に一定したとかするとやら私服にも困つてゐる我が家の父は仰天するも無理じやあるまい、これを世間はどう見るか！そして學校はどう見るか

（黑水寄）

## 案々子こ 身代り往生 腦溢血の爲め

湯本町字龍の口農業星野歌之助（六四）は昨一日午前九時頃自分所有の同町寶海寺境內にある畑に案々子を立てに出かけて作業中突然腦溢血のため昏倒死亡したのを通り合せた同町今野市太郎夫婦が發見自殺したものと思ひ込み歌之助方へ通知する一方平署へ屆出たので平署から稻矢田部長出張檢視の結果前記の事情判明屍体は家人に引渡した

## けふの厄日も平穩に 農家愁眉を開く 先づは安全を喜ぶ 郡下の各農村

石城郡下の稻作は大体良好の成績を見てゐるが、一年中の厄日（二百十日）の今二日は天候次第で豐作疑ひないと喜ばれて居た際の事とてけふの厄日は農家にとつてどれ丈け大切なものか想像に餘りある、小名濱測候所では「廿八日頃本縣一帶を襲つた颱風は遠くオホーツク海方面に去り現在では遠州灘に新なる颱風が發生し進路を北東にとつてゐる模樣がある、爲めに大平洋沿岸は多少强風に見舞はれる事があるかも知れないが裏日本一帶は極めて靜穩でけふの厄日も先づは無事に濟むだことを非常に喜むでゐる」云々

## 遠く双葉からも 四倉繭市場大多忙 きのうの取引千五百貫 買馴四十五圓臺

四ッ倉繭市場に於ける昨一日の取引は白二十四件千四百六十五貫餘で此の金額六千六百三十六圓以上に達してゐる即ち取引相場は最高六十圓最底二十八圓五十錢買馴四十五圓廿錢と言ふ像期以上の張りを見せ賣方を喜ばせてゐるが昨日の繭持出しは重に久之濱、大久廣野、木戶、龍田の双葉、南部方面及江名、高久、大浦等である

# 鹿を逐ふ人々（二）

## 候補者の裏を覗ゐて 民政黨公認 野崎滿藏君

來るべき縣議戰に當り石城より鹿を逐ふ政、民、中の各派候補者の裏をのぞいて無遠慮に書きなぐつて見る、若し差し障りの點があつたら平に御用捨を乞ふ（一記者）

△玆にこう書いたからとて本欄の記者は敢て兩者の離間中傷を謀らむ心なぞ毫頭もないが漆畑先生なぞに語らせると野崎君には一つの癖がある、尋常一樣の理性と常識を以てせば屁をひつた樣な事でも告訴をしたがる惡い癖が有り過ぎて困る

□然らば君は自己の名譽を重むずると同じに他人の名譽を尊ぶかと言ひばずいぶん他人樣の惡口を叩くのでは人に負けない癖に自分の番だとなるとすぐに名譽搜損だ侮辱だと告訴をやらかすからどうも態度が疑はれてならない

□如上の事實は强ち漆畑先生の御說明を待たなくとも既に世間定評の事實として記者も些かは首肯出來ぬでないが實は其處が野崎君の大なる短所であり又大なる長所でもあるんである

□恐らく「我」の强い點に行つたら君位への男は少なかろう、彼れを產むだ母は彼れを鑄型に入れて作つたのかと思ふほど剛愎で意地ツ張りで小づら憎いほど自我の强い男だ

□然しそれが彼れの生命であり取り柄である、あの片意地な剛愎を突ッ張り通したればこそ事實上石城民政黨を牛耳る今日の地位をかち得たのだ、豪膽にして底知れぬ彼れは如才のない口こそ利いてゐるものゝ必ずや石城民政黨を驚摑みにするだけの野望もあれば膽も出來てゐる

□彼れは心の中では漆畑の糞喰ひ、若松美三の素ッ寒ピン、比佐の青二才位にきり思つてゐまい事は、蓋し當らずと雖ども遠からずであろう事を唯れか否むものがあろう

△多くの敵もあり代り根强い味方もある、噛りついてもあきたらぬほど深い怨みの敵もあろうが野崎の爲めなら一つ限りの命を捧げても措しかないほど力强い乾分の二三人は無いものでもあるまい、彼れも慥かに一派の謀將であり親分であるに違へはない

□今度の選擧でも信州人會とやらが荻原君を出したいと焦り荻原君も滿更らでなかつたと云ふが之れを讀むだ野崎君は「荻原よりは乃公の方が强い樣だ倒れるまでにも乃公の出る方が民政黨の爲めになる」と自ら押し付けて公認を受諾したと云ふ事を聞いたが全くその通りだ野崎君なればこそ大づら構へて陣頭に立ちもすれば立たせも出來るものではあるのだ

△好漢野崎君、恕むらくは兒も角黨の先輩たる若松君と選擧地盤の上で眞ッ向から喰ひ合はねばならぬ、一割損な地位にあつて當選してこそ君の光りが出ると云ふものだ、大いに自重されん事を望むや切である

## 郡下の秋蠶 出盛は廿日頃

本郡地方に於ける目下の秋蠶況は初秋蠶は既に最盛時も終つたが晩秋蠶は二眠乃至三眠程度で上簇は十日頃から十四五日が盛りで二十日頃から沿廻り初めるものと見られてゐる桑葉も芯止めで可成憂慮はされてゐたものゝ昨年と大差ない程の好成績で收繭高も當初の豫想以上に達するであらうと

## 井戸氏長逝

いはらき新聞社常務取締役井戶文一氏は予ねて病氣のため水戶市常盤病院に入院加療中のところ今曉逐に逝去された

## 陪審模擬裁判 平劇場で好評

平劇場に開演中の陪審裁判公開劇は昨夜から蓋を明けたが月岡一座の劇と相俟つて非常な盛會であるが今晩限りである

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話 六〇三番 五四一番

內科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町 電話平圜五〇七番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵 金物問屋 ㊇釜屋商店
諸橋久太郎
電話 九一番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は㊇の生命なり

營業種目
內地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達 請負 其他
佐藤材木店
常磐線平町 新川町
電話 三三五番

外科
外科、耳鼻咽喉科 內科、泌尿器科
X光線科
赤心堂病院
平町字田町
電話四七五